

平成 25 年 3 月 8 日

# 南 の 風 3 1

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

南部連盟の新人戦（ファルコンカップ）が終わりました。結果は下記の通りです。

《男 子》

優勝 六ッ川 準優勝 桜岡 3位 洋光台

《女 子》

優勝 サンライズ 準優勝 磯子 3位 永田台

以上の結果となりました。

優勝した六ッ川、サンライズチームの皆さんおめでとうございます。両チーム共、しっかり核になる選手がいました。またある程度、ベストメンバー5人の役割が出来ていました。選手のサイズもあり今後の成長が楽しみです。南部連盟を引っ張って行ってほしいと思います。残念ながら敗れてしまったチーム、決勝トーナメントに残れなかったチームも、戦いはこれからです。それぞれのチームで課題を明確にして、25年度の春季大会に向けて練習を積み重ねてほしいと思います。

さて、平成24年度の行事がすべて終了しました。まずは南部連盟の選手の皆さん、ご成長おめでとうございます。6年生の皆さんは、ぜひ中学校でもバスケットボールを続けてほしいと思います。また5年生以下の皆さんは、春季大会に向けてなお一層練習に励んでください。

そして南部連盟の役員の皆様、保護者会並びに指導者の皆様、平成24年度もあらゆる分野でお力添えをいただきました。お陰様ですべての行事を恙なく終了することが出来ました。心より御礼申し上げます。また来年度もよろしくお願い致します。

次に、25年度に向けてチームをどうつくっていくかについて書いてみます。

まずは「どんなチームにしていくか」という「**チーム像**」を考えますが、今回はこのことはさておき、もう少し戦術面に触れて話を進めることにします。

オフェンスです。オフェンスを考える上で一番大切なことは、「**どう得点をするか**」ということです。そこでオフェンスを構築する順序を書きます。

《オフェンスをつくる順序》

- ①チームの構成メンバーの特徴を捉える。（選手の身体の大きさや脚力、ボール操作等）
- ②『核』となる選手を中心にタクティクスを考える。（例：核となる選手の1対1を中心にして、1対1の崩しから合わせ。あるいは2対2を中心にパス&ランやポストとの合わせなどです。）大切なことは核となる選手をうまく生かすことです。
- ③オフェンスリバウンドの取り方の練習（バスケットボールの特性：『シュートは落ちる』ことを常に想定することが大切です。）味方のシュートに対してどう反応してリバウンドに飛びこむかがポイントです。さらに取れなかった時の対処についても同時に練習しましょう。
- ④上記の3点を反復練習しながら、構成メンバー全体のレベルアップを図りましょう。反復練習していくうちに新たな課題も見えてきます。ディフェンスについては次号とします。